

多面的機能の維持・発揮活動 【コミュニティ部門】

そうせい
まぜ創生グループ(伊勢市)

目指すは地域の継続した活性化

活動の状況 (認定農用地面積=25ha)

馬瀬町には、開拓事業により排水路として生活を支えてきた馬瀬川があります。現在、下水道が完備され、かつての生態系を取り戻しつつあるこの排水路に、当組織が地域のお祭り行事の一環として、子どもたちと共にニシキゴイ200匹を放流し、その後のコイの世話や成長観察を続けています。また、水田に放鳥したアイガモに虫や草を食べてもらい、無農薬のお米を育てています。市街化する農村集落の課題として、個々の結びつきが薄まる中、平成21年度から公民館駐車場で「まぜ楽市」と呼ばれる朝市を毎月定期開催しています。オリジナルロゴマーク入りののぼりやエプロンを作成することで組織の団結力を高め、地元農家の方には軽トラで持ち込んだ野菜を荷台でそのまま販売していただき、農家と非農家のコミュニケーション場所の提供とこれらを定期化することで、さらなる地域の活性化を図っています。



ニシキゴイの放流



小学生による農業体験



アイガモ農法



まぜ楽市



排水路清掃作業



防災・減災力強化訓練